

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市立 多摩病院	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 学校法人 聖マリアンナ医科大学 ・代表者名 理事長 明石 勝也 ・住 所 川崎市宮前区菅生2-16-1	評価者	多摩病院運営管理担当課長
指定期間	平成18年2月1日～平成48年3月31日	所管課	病院局 経営企画室

2. 事業実績

利用実績	●多摩病院患者数等の状況 1 入院患者の状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <th style="width: 20%;">延患者数</th> <th style="width: 20%;">実患者数</th> <th style="width: 20%;">1日平均患者数</th> <th style="width: 10%;">稼働率</th> <th style="width: 30%;">平均在院日数</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">107,933人</td> <td style="text-align: center;">8,134人</td> <td style="text-align: center;">295.7人</td> <td style="text-align: center;">78.6%</td> <td style="text-align: center;">12.3日</td> </tr> </table> 2 外来患者の状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <th style="width: 33%;">延患者数</th> <th style="width: 33%;">実患者数</th> <th style="width: 34%;">1日平均患者数</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">228,519人</td> <td style="text-align: center;">46,307人</td> <td style="text-align: center;">843.2人</td> </tr> </table> 3 救急患者の状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <th style="width: 25%;">救急患者数</th> <th style="width: 25%;">小児救急患者数(再掲)</th> <th style="width: 50%;">救急車搬送患者数(再掲)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15,988人</td> <td style="text-align: center;">4,475人</td> <td style="text-align: center;">4,293人</td> </tr> </table> 4 患者紹介率・逆紹介率(診療報酬上の計算式) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <th style="width: 50%;">紹介率</th> <th style="width: 50%;">逆紹介率</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">58.5%</td> <td style="text-align: center;">38.9%</td> </tr> </table>	延患者数	実患者数	1日平均患者数	稼働率	平均在院日数	107,933人	8,134人	295.7人	78.6%	12.3日	延患者数	実患者数	1日平均患者数	228,519人	46,307人	843.2人	救急患者数	小児救急患者数(再掲)	救急車搬送患者数(再掲)	15,988人	4,475人	4,293人	紹介率	逆紹介率	58.5%	38.9%
延患者数	実患者数	1日平均患者数	稼働率	平均在院日数																							
107,933人	8,134人	295.7人	78.6%	12.3日																							
延患者数	実患者数	1日平均患者数																									
228,519人	46,307人	843.2人																									
救急患者数	小児救急患者数(再掲)	救急車搬送患者数(再掲)																									
15,988人	4,475人	4,293人																									
紹介率	逆紹介率																										
58.5%	38.9%																										
収支実績 (単位:千円)	平成22年度 決算額(千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">収入の部</th> <th colspan="2" style="text-align: left;">支出の部</th> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">入院収益</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">5,470,803</td> <td style="width: 30%;">給与費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">4,134,154</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td style="text-align: right;">2,578,333</td> <td>材料費</td> <td style="text-align: right;">1,996,118</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収益</td> <td style="text-align: right;">475,386</td> <td>その他の事業費用</td> <td style="text-align: right;">2,062,237</td> </tr> <tr> <td>政策的医療交付金</td> <td style="text-align: right;">618,229</td> <td>指定管理者負担金</td> <td style="text-align: right;">662,511</td> </tr> <tr> <td>収入合計</td> <td style="text-align: right;">9,142,751</td> <td>支出合計</td> <td style="text-align: right;">8,855,020</td> </tr> </table> 収支差額 収入－支出 287,731 千円	収入の部		支出の部		入院収益	5,470,803	給与費	4,134,154	外来収益	2,578,333	材料費	1,996,118	その他の事業収益	475,386	その他の事業費用	2,062,237	政策的医療交付金	618,229	指定管理者負担金	662,511	収入合計	9,142,751	支出合計	8,855,020		
収入の部		支出の部																									
入院収益	5,470,803	給与費	4,134,154																								
外来収益	2,578,333	材料費	1,996,118																								
その他の事業収益	475,386	その他の事業費用	2,062,237																								
政策的医療交付金	618,229	指定管理者負担金	662,511																								
収入合計	9,142,751	支出合計	8,855,020																								
サービス向上の取組	●患者サービスへの取組み ・地域医療連携の取組み 平成23年2月に地域医療支援病院の名称承認を受け、地域の医療機関と連携強化を図るとともに、連携医療機関との症例研究や研修会を開催するなど、北部地域全体の医療水準の向上に努めている。 ・市民健康講座の開催 多摩病院2階講堂において、市民健康講座を6回、ミニ市民健康講座を3回開催し、合計612人の市民が参加した。																										

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																																																																																																																				
事業成果	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	18	3	10.8																																																																																																																				
		当初の事業目的を達成することができたか																																																																																																																							
	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8																																																																																																																				
		利用者満足度は向上しているか																																																																																																																							
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか																																																																																																																							
	<p>(評価の理由)</p> <p>●事業成果</p> <p>【成果の測定】 入院・外来別及び診療科別の患者数・稼働実績・医療収入内訳等について、日報、月報及び年報を作成し、運営状況を常に把握している。</p> <p>・入院患者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延患者数(人)</td> <td>90,029</td> <td>112,543</td> <td>111,288</td> <td>109,727</td> <td>107,933</td> </tr> <tr> <td>実患者数(人)</td> <td>6,544</td> <td>7,746</td> <td>7,929</td> <td>8,492</td> <td>8,134</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数(人)</td> <td>246.7</td> <td>307.5</td> <td>304.9</td> <td>300.6</td> <td>295.7</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率(%)</td> <td>87.1</td> <td>81.8</td> <td>81.1</td> <td>80.0</td> <td>78.6</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>12.8</td> <td>13.5</td> <td>13.0</td> <td>11.9</td> <td>12.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外来患者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延患者数(人)</td> <td>191,734</td> <td>218,943</td> <td>224,751</td> <td>233,530</td> <td>228,519</td> </tr> <tr> <td>初診患者数(人)</td> <td>49,545</td> <td>52,802</td> <td>47,655</td> <td>50,650</td> <td>46,307</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数</td> <td>710.1</td> <td>804.9</td> <td>829.3</td> <td>864.9</td> <td>843.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救急患者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数(人)</td> <td>20,430</td> <td>20,524</td> <td>17,651</td> <td>18,132</td> <td>15,988</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送患者数(人)</td> <td>4,845</td> <td>5,113</td> <td>4,090</td> <td>4,425</td> <td>4,293</td> </tr> <tr> <td>小児救急患者数(人)</td> <td>7,588</td> <td>7,051</td> <td>5,104</td> <td>5,565</td> <td>4,475</td> </tr> </tbody> </table> <p>・患者紹介率・逆紹介率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>52.0</td> <td>50.5</td> <td>50.0</td> <td>52.1</td> <td>58.5</td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>22.5</td> <td>28.0</td> <td>31.6</td> <td>34.2</td> <td>38.9</td> <td>62.5</td> <td>60.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>44.1</td> <td>41.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H18～H22 診療報酬上の計算式による紹介率及び逆紹介率 *【参考】H21～H22 地域医療支援病院の計算式による紹介率及び逆紹介率</p> <p>【事業目的の達成状況】 多摩病院の管理に関する基本協定において、多摩病院は、地域における急性期医療を行う中核的な医療機関と位置付け、果たすべき基本的な医療機能として、①24時間365日の救急医療、②小児救急医療、③災害時医療、④地域医療連携、⑤医療従事者の育成が定められている。それぞれの実施状況は下記のとおりとなっている。</p> <p>全国的に入院、外来ともに患者数が減少傾向の中、多摩病院においても、病床稼働率が、80%を下回った。また、実患者数が対前年度比で初めて減少した。</p> <p>外来診療については、地域医療連携を推進するため、紹介制・逆紹介制に対する取り組みを進めたことや平成21年度は患者数が大きく伸びた影響もあり、対前年度比で初めて減少した。</p> <p>①24時間365日の救急医療 勤務医不足など厳しい環境が続く中、開院以来、24時間365日の救急医療を継続していることは高く評価できる。平成21年度に新型インフルエンザが流行した影響もあり、前年度に比べ、多摩病院の救急患者数は減少したが、川崎市消防局が救急車で搬送した人数は市内医療機関で3番目となっている。</p> <p>②小児救急医療 小児科医が不足する状況下で、開院以来、10人の小児科医を確保し、川崎北部地域唯一の小児科第二次応需病院及び休日第二次応需病院(小児科)として、全休日及び毎夜間(365日)に救急対応し、入院患者を受け入れていることは高く評価する。また、近隣の開業医からの紹介患者は、ほぼ無条件で受け入れており、信頼関係に基づいた役割分担が構築されている。</p> <p>④地域医療連携 患者紹介率、逆紹介率(診療報酬上の計算式)ともに平成21年度に比べ増加しており、平成23年2月には、開院以来の目標であった地域医療支援病院の名称承認を受けたことは高く評価できる。</p> <p>⑤医療従事者の育成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修医 <ul style="list-style-type: none"> 聖マリアンナ医科大学病院を管理型臨床研修病院とする臨床研修病院群協力型臨床研修病院として、1年目の研修医はフルマッチングで9人が研修を行った。また2年目の研修医は年間を通じて延べ50人以上を受入れた。 鶴見大学協力型研修施設として歯科口腔外科研修医2人を受け入れた。 医学生、看護学生等の研修 <ul style="list-style-type: none"> 医学生以外にも、約550人の病院職員で、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等合わせて約340人の学生実習を受け入れた。さらに、救急救命士の気管内挿管研修を実施しており、市内救急搬送のレベルアップに 							H18	H19	H20	H21	H22	延患者数(人)	90,029	112,543	111,288	109,727	107,933	実患者数(人)	6,544	7,746	7,929	8,492	8,134	1日平均患者数(人)	246.7	307.5	304.9	300.6	295.7	病床稼働率(%)	87.1	81.8	81.1	80.0	78.6	平均在院日数(日)	12.8	13.5	13.0	11.9	12.3		H18	H19	H20	H21	H22	延患者数(人)	191,734	218,943	224,751	233,530	228,519	初診患者数(人)	49,545	52,802	47,655	50,650	46,307	1日平均患者数	710.1	804.9	829.3	864.9	843.2		H18	H19	H20	H21	H22	救急患者数(人)	20,430	20,524	17,651	18,132	15,988	救急車搬送患者数(人)	4,845	5,113	4,090	4,425	4,293	小児救急患者数(人)	7,588	7,051	5,104	5,565	4,475		H18	H19	H20	H21	H22	【参考】		紹介率(%)	52.0	50.5	50.0	52.1	58.5	H21	H22	逆紹介率(%)	22.5	28.0	31.6	34.2	38.9	62.5	60.7							44.1
	H18	H19	H20	H21	H22																																																																																																																				
延患者数(人)	90,029	112,543	111,288	109,727	107,933																																																																																																																				
実患者数(人)	6,544	7,746	7,929	8,492	8,134																																																																																																																				
1日平均患者数(人)	246.7	307.5	304.9	300.6	295.7																																																																																																																				
病床稼働率(%)	87.1	81.8	81.1	80.0	78.6																																																																																																																				
平均在院日数(日)	12.8	13.5	13.0	11.9	12.3																																																																																																																				
	H18	H19	H20	H21	H22																																																																																																																				
延患者数(人)	191,734	218,943	224,751	233,530	228,519																																																																																																																				
初診患者数(人)	49,545	52,802	47,655	50,650	46,307																																																																																																																				
1日平均患者数	710.1	804.9	829.3	864.9	843.2																																																																																																																				
	H18	H19	H20	H21	H22																																																																																																																				
救急患者数(人)	20,430	20,524	17,651	18,132	15,988																																																																																																																				
救急車搬送患者数(人)	4,845	5,113	4,090	4,425	4,293																																																																																																																				
小児救急患者数(人)	7,588	7,051	5,104	5,565	4,475																																																																																																																				
	H18	H19	H20	H21	H22	【参考】																																																																																																																			
紹介率(%)	52.0	50.5	50.0	52.1	58.5	H21	H22																																																																																																																		
逆紹介率(%)	22.5	28.0	31.6	34.2	38.9	62.5	60.7																																																																																																																		
						44.1	41.2																																																																																																																		

事業成果・患者満足度

●利用者満足度
 【満足度調査の実施】
 年3回入院患者、外来患者それぞれに20項目の質問事項で患者満足度調査を実施している。患者アンケートによる満足度の結果は次のとおりである。調査結果については、5点満点で入院患者平均4.3点、外来患者平均4.0点で、どちらも、4点以上となっており、入院患者の満足度が外来患者の満足度をやや上回っている。この中で、入院では食事、外来では診察待ち時間に対する満足度が低くなっている。また、患者満足度調査の中に、自由記述欄を設け、多様な意見の把握に努めている。

・患者満足度調査の状況

	H18	H19	H20	H21	H22
入院患者満足度調査結果	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3
外来患者満足度調査結果	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0

*各年度、3回(各20項目)分の平均値(平成18年度は2回分)
 *点数は5点満点で、「評価が高い5→0 評価が低い」となっている

【具体的な取り組み】

外来待ち時間対策として、患者一人ひとりにお渡しする携帯型呼び出し装置の導入を検討しているが、多額の費用がかかるため、事前調査として病院職員用の院内PHSを利用した導入テストを平成23年2月から一部の診療科で開始した。

外来待ち時間対策として、平成23年3月から外待合6箇所にメディネット(情報案内表示装置)を設置し、健康に役立つ情報や院内案内情報等を表示している。

1階総合受付に専従のコンシェルジュを配置し、外来患者の案内やお世話をしている。臨機応変なサービスに対して、病院利用者から高評価を得ている。

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
----	----	-----	----	------	-----

効率的・効果的な支出	適正な支出が行われているか		12	4	9.6
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
収入の確保	適正な収入が得られているか		12	3	7.2
	収入増加のための具体的な取組が為されているか				
適切な会計手続	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか		5	3	3

(評価の理由)

●効率的・効果的な支出

	H18	H19	H20	H21	H22
医業収支比率	91.9%	89.2%	87.1%	95.3%	96.9%
経常収支比率	95.7%	92.9%	91.0%	101.4%	103.2%
職員給与費対医業収益比率	56.4%	51.4%	51.9%	48.4%	48.4%

【適正な支出】

平成21年度は、指定管理者が再委託の委託料を大幅に削減したことや政策的医療交付金等の見直しを行ったことなどを反映し、医業収支比率及び経常収支比率ともに前年度より向上した。平成22年度についても、引き続き入院収益及び外来収益が増加したことにより医業収支比率及び経常収支比率ともに向上し、純損益でも黒字を維持している。

また、職員給与費対医業収益比率については、平成21年度から比率が低減し、50%を下回った。平成22年度も前年度と同比率となり、50%未満を維持している。

平成22年度の具体的な取り組み事例

- ①後発医薬品への切り替えを促進した。(対前年度約8,500万円の削減効果)
- ②病棟クラーク業務を委託から直接雇用(パート勤務)に切り替え、経費を削減した。(対前年度約1,400万円の削減効果)
- ③ガスオーケネレーションシステムの運転を従来よりきめ細かく制御し、ガス代の高騰による光熱水費の増加を抑制した。
- ④施設管理及び総合医療情報システムの保守管理契約について、契約内容を見直し委託料を削減した。(対前年度比約820万円の削減効果)

- ⑤清掃業務の感染性廃棄物処理委託について、契約内容を見直し委託料を削減した(対前年比約600万円の削減効果)

●収入の確保

	H18	H19	H20	H21	H22
入院収益(千円)	4,067,027	5,035,735	5,126,476	5,340,160	5,470,802
外来収益(千円)	1,611,850	2,009,579	2,227,163	2,495,637	2,578,333
その他医業収益(千円)	183,115	189,116	175,091	243,889	258,540
入院診療単価(円)	45,175	44,745	46,065	48,668	50,687
外来診療単価(円)	8,407	9,179	9,909	10,687	11,283

【適正な収入】

平成22年度は前年度に比べ入院患者が1,794人、外来患者が5,011人それぞれ減少しているものの、入院収益は130,642千円、外来収益は82,696千円増加している。

入院・外来収益については開院以来増収となっているものの、今後更に安定した収入確保のために、病床稼働率の向上を図っていただきたい。

【具体的な取り組み】

平成23年2月に地域医療支援病院の名称承認を受け、翌3月からDPC係数加算を開始し、収入増に寄与した。

●適切な会計手続

事業収支に関する会計処理については、基本協定及び細目協定の規定に基づき適正に処理されているものと認められる。多摩病院において徴収された収納金は、細目協定で定めた期限内に指定管理者から市の口座に払い込まれている。

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが適切に提供されたか	10	4	8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	業務改善によるサービス向上	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか	5	3	3	
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)	5	4	4	
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>●適切なサービスの提供</p> <p>【適切なサービスの提供】</p> <p>救急医療、小児医療、産科医療については、医師不足などの影響で各地で休診が相次ぎ、社会問題化している。多摩病院では、基本協定等に基づき、開院以来、24時間365日の救急医療、小児救急医療に積極的に取り組み、市民の安全・安心の確保に大きく貢献している。また、産科医療については、市内の分娩施設が不足する状況の中、市の要請に応え、聖マリアンナ医科大学からの応援医師の協力などを得て、分娩予約枠の拡大に努めていることは高く評価できる。</p> <p>開設前に市が定めた18診療科(院外標榜科目)全てを安定的に継続しているとともに、各診療科において専門外来等の充実に努めている。</p> <p>平成23年2月に、開院以来の目標であった地域医療支援病院の名称承認を受けた。今後、地域医療支援病院として、更に地域の医療機関と役割分担を進め、限られた医療資源を有効活用することで、地域の医療水準向上に大きく貢献することが期待される。</p> <p>【サービスの利用促進への具体的な取り組み】</p> <p>急性期・救急医療を提供する中核病院としての機能強化を目的として、HCU(ハイケアユニット)の設置を予定しており、具体的な病棟や病床数について検討を行っている。</p> <p>【利用者への情報提供】</p> <p>ホームページの作成・更新、多摩病院の情報紙「TAMAメディカルネット」の発行を適時行っている。</p> <p>市民の健康の維持増進、介護の知識を深めるため、平成22年度は、「市民健康講座」を6回、「ミニ市民健康講座」を3回開催し、多くの市民が参加した。</p> <p>●業務改善によるサービス向上</p> <p>川崎市特定健診・がん検診等の受診希望者が円滑に手続きを行えるよう、1階正面玄関の隣に健康診断部専用の受付と事務室を設ける改修工事に着手した。</p> <p>●利用者の意見・要望への対応</p> <p>【利用者ニーズの把握】</p> <p>年3回入院患者、外来患者それぞれに20項目の質問事項で患者満足度調査を実施している。調査結果については、5点満点で入院患者平均4.3点、外来患者平均4.0点で、どちらも、4点以上となっており、入院患者の満足度が外来患者の満足度をやや上回っている。この中で、入院では食事、外来では診察待ち時間に対する満足度が低くなっている。また、患者満足度調査の中に、自由記述欄を設け、多様な意見の把握に努めている。</p> <p>院内6箇所自由記入方式の意見箱を設置し、患者満足度調査の他に、常時利用者の意見・要望の把握に努めている。</p> <p>医療関係者、学識経験者、公募委員を含めた市民代表等で構成した川崎市立多摩病院運営協議会を開催し、利用者をはじめ関係者の意見・要望の把握に努めている。</p> <p>外来の診察待ち時間は、開院以来、恒常的な課題とされており、対策に向けた検討を重ねているところであるが、引き続き待ち時間短縮に向けた検討を進められたい。</p> <p>【利用者からの苦情意見に対する対応】</p> <p>外来待ち時間対策として、患者一人ひとりにお渡しする携帯型呼び出し装置の導入を検討しているが、多額の費用がかかるため、事前調査として病院職員用の院内PHSを利用した導入テストを平成23年2月から一部の診療科で開始した。</p> <p>外来待ち時間対策として、平成23年3月から外待合6箇所メディネット(情報案内表示装置)を設置し、健康に役立つ情報や院内案内情報等を表示している。</p> <p>1階総合受付に専従のコンシェルジュを配置し、外来患者の案内やお世話をしている。臨機応変なサービスに対して、病院利用者から高評価を得ている。</p>					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	4	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	6	4	4.8
	安全・安心への取組	医療事故を未然に防止できる適切な安全管理体制となっているか。	6	4	4.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2	
(評価の理由)					
<p>●適正な人員配置・連絡・連携体制 医療法等に定められている以上の医療従事者を配置するとともに、施設管理に係る有資格者を適正に配置し、患者の安全や良質な医療サービスの提供に努めている。また、看護師の確保に努め、平成18年7月から7対1看護体制を導入している。所管課とも日々連絡調整を行い、良好な連携体制が取られている。</p> <p>●再委託管理 再委託先の責任者が、毎朝病院の担当部署に業務報告している。その他に、毎月1回再委託先と定例連絡会を開催し、適切な監視・確認を行っている。</p> <p>●担当者のスキルアップ 職員を対象として、感染、医療安全、移植、地域医療等に関する研修を平成22年度は26回実施し、担当者のスキルアップが図られている。 平成22年度新たに1人が認定看護師を取得し、計6人となった。 診療情報管理士の資格を有した職員が7人在籍しており、更に6人が資格を取得中である。</p> <p>●安全・安心への取組 病院長・副院長直属の医療安全管理対策室を組織し、専従の看護師2人を配置し、積極的に活動している。 院内各部門の代表者を中心に10人で構成する医療安全管理対策委員会(委員長 医療安全管理対策室長)を設置しており、平成22年度は、8月を除いて毎月開催した。(計11回) また、院内59人のセーフティマネージャーで構成するセーフティマネージャー会議を5回開催した。 両会議においては、セーフティレポート集計報告、事例報告・検討、医療安全対策等についての検討・協議が行われている。 多摩区、宮前区及び麻生区に事業体を有する、事業所、研究所、学校法人、警備管理関係者等11団体が構成される「警備連絡会」に参加している。この連絡会には3区の警察署及び消防署も参加しており、隔月開催される連絡会で情報交換等を行っている。</p> <p>●コンプライアンス・職員の労働条件・労働環境 川崎市個人情報保護条例を遵守するとともに、川崎市立多摩病院個人情報保護方針を策定し適正な取扱いを行っている。また、職員の労働条件及び労働環境については、平成22年度に採用した看護師39人のうち、同年度内に退職した看護師が1人(家庭の事情で年度末に退職)に留まっていることから適切な管理がされていると評価する。</p> <p>●環境負荷の軽減 多摩病院で使用される諸エネルギーについて、日々の環境条件等によりガスコージェネレーションシステムの運転設定を変えるなど、環境に配慮し、より効率的なエネルギー使用に努めている。</p>					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由)					
<p>●施設・設備の保守管理・管理記録の整備・保管 施設の設備運転、保守管理業務等については専門業者に再委託しており、再委託業者からは定期的に管理報告を受け、適時必要な指示を行うなど適切な維持管理が行われている。</p> <p>●清掃業務・警備業務・外構植栽管理 清掃、警備、外構、植栽管理については、それぞれ専門業者に再委託しており、委託契約仕様書に基づき、常に施設が適切に維持できるよう管理されている。</p> <p>●備品管理 開設時に市が購入した医療機器等とその後指定管理者が購入した医療機器等は、備品シールと台帳により区分され、それぞれ適正に管理されている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	70.2	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

計画段階から、多摩病院は、近隣の開業医等と連携し、これを支援しながら地域全体の医療供給体制の向上を図ることが、大きな目的のひとつであった。開設当初から、地域医療連携室を中心に周辺医療機関との相互理解及び連携強化に努め、情報ネットワークを構築するなど、地道な取り組みを続け、平成23年2月に市内2番目で地域医療支援病院の名称承認を受けたことは高く評価できる。引き続き、地域全体で患者本位の継続性のある医療を提供することに貢献するとともに、紹介制・逆紹介制の運用に当たっては、その趣旨を市民に対し、より丁寧に説明することを心掛けていただきたい。

全国的に産婦人科医師が不足し、産科の休止や分娩の取り扱い中止などが相次ぐ中、医師を養成している聖マリアンナ医科大学においても産婦人科医師の確保は容易でないが、常勤医師3人の他に大学からの応援医師の協力などを得て、産科の他、婦人科の診療や手術なども継続している。さらに、市内で分娩施設が不足している現状から、市の要請に応え、安全を確保しながら分娩予約枠の拡大を行ったことは高く評価できる。

多摩病院は、地域に不足していた急性期・救急医療を軸とする病院として、市民の大きな期待を受け開設された。開設以来、病院職員及び関係者が、努力を重ね、地域の中核病院として十分期待に応えている。平成22年度は、開院以来初めて、入院患者実人数が減少し、病床稼働率は、80%を下回った。市立病院において良質な医療サービスを求める市民が大勢いると思われることから、病床稼働率の向上を図っていただきたい。

救急医療については、勤務医不足など厳しい環境下において、引き続き24時間365日救急を堅持していることは市民の安全・安心の確保に大きく貢献しているが、現在、市内救急搬送において、搬送先の医療機関確保に要する時間の長さが課題となっていることから、一層の救急車搬送患者の受け入れ拡大に努めていただきたい。

開設から5年経過を機会に、これまでの病院運営を検証し、更なる医療サービスの向上と強固な経営基盤の確立に向けた取り組みを期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

地域の中核病院として、急性期・救急医療に積極的に取り組み、市立病院に対する市民の大きな期待に応えること。

市民が安心して安全な医療を受けられる環境を整備し、医療事故の防止に全力で取り組むこと。

市内救急搬送において、救急車の現場滞在時間の短縮が課題となっていることから、救急車の受入れ拡大に努めること。

施設の有効活用の観点からも、患者実人数の増加による病床稼働率の向上が望まれる。